

平成25年度
とちち帯広空港利用者アンケート
報告書（冬期分）

平成26年3月
帯広市商工観光部空港事務所

■ アンケート調査の概要

とちぎ帯広空港利用者アンケート調査（冬期調査）

- <実施期間> 平成26年1月20日～1月26日
- <実施時間> 午前8時30分から午後8時30分まで
※実施当日の帯広出発便（初便から最終便まで）
- <対象者> 帯広発羽田行き全便における利用者
配布枚数 1,000枚
- <調査方法> 実施場所での即時回収
- <回収率> 98.9%

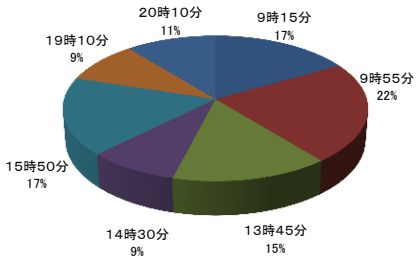
■ 目次

1. アンケート対象者の属性	2
2. 調査対象者の居住地	4
3. 利用目的	5
4. アウトバウンドの利用状況	6
5. インバウンドの利用状況	7
6. とちぎ帯広空港までの交通機関	8
7. 自家用車（駐車）を選んだ理由	9
8. 新規就航を望む路線	10
9. 空港を選ぶ際に重視すること	11
10. とちぎ帯広空港の利用しづらいと思うこと	12
11. とちぎ帯広空港の駐車場利用	13
12. とちぎ帯広空港からの乗継割引路線の認知度	14

1. アンケート対象者の属性 平成25年度（冬期）

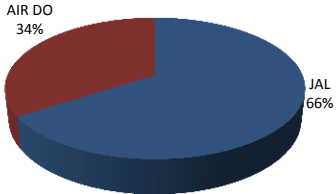
- 出発日時
- 年齢（世代）
- 利用航空会社
- 職業
- 性別

1-a 出発時刻



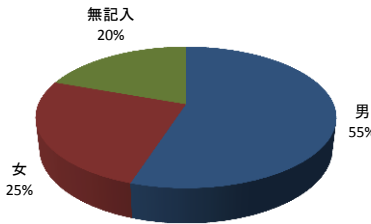
選択肢	回答数	構成率
9時15分	165	16.7%
9時55分	222	22.4%
13時45分	147	14.9%
14時30分	85	8.6%
15時50分	171	17.3%
19時10分	92	9.3%
20時10分	107	10.8%
無記入	0	0.0%
計	989	100.0%

1-b 利用航空会社



選択肢	回答数	構成率
JAL	651	65.8%
AIR DO	338	34.2%
無記入	0	0.0%
計	989	100.0%

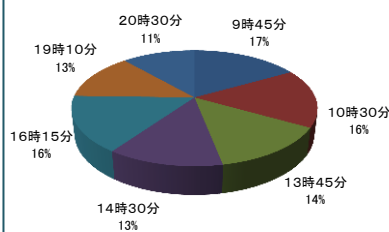
1-c 性別



選択肢	回答数	構成率
男	544	55.0%
女	252	25.5%
無記入	193	19.5%
計	989	100.0%

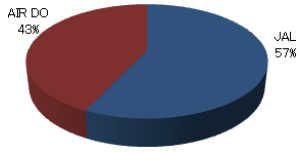
1. アンケート対象者の属性 平成24年度（冬期）

1-a 出発時刻



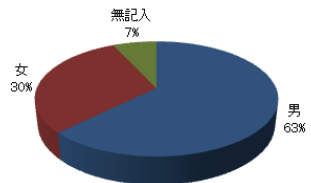
選択肢	回答数	構成率
9時45分	180	16.8%
10時30分	176	16.4%
13時45分	147	13.7%
14時30分	138	12.9%
16時15分	168	15.7%
19時10分	140	13.1%
20時30分	123	11.5%
無記入	0	0.0%
計	1,072	100.0%

1-b 利用航空会社



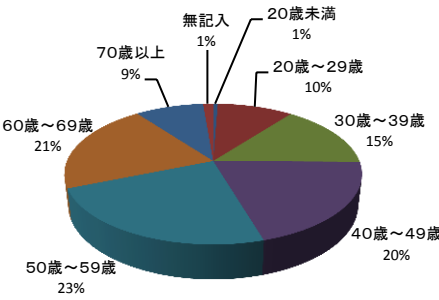
選択肢	回答数	構成率
JAL	612	57.1%
AIR DO	460	42.9%
無記入	0	0.0%
計	1,072	100.0%

1-c 性別



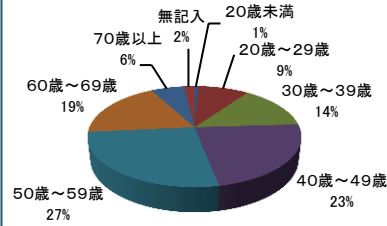
選択肢	回答数	構成率
男	672	62.7%
女	325	30.3%
無記入	75	7.0%
計	1,072	100.0%

1-d 年齢



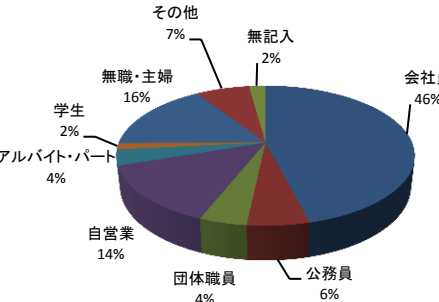
選択肢	回答数	構成率
20歳未満	6	0.6%
20歳～29歳	97	9.8%
30歳～39歳	146	14.8%
40歳～49歳	200	20.2%
50歳～59歳	232	23.5%
60歳～69歳	207	20.9%
70歳以上	88	8.9%
無記入	13	1.3%
計	989	100.0%

1-d 年齢



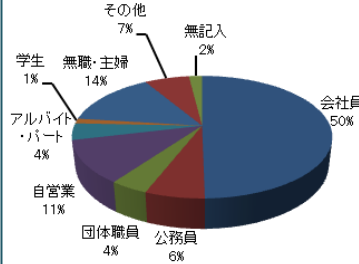
選択肢	回答数	構成率
20歳未満	8	0.7%
20歳～29歳	98	9.1%
30歳～39歳	152	14.2%
40歳～49歳	245	22.9%
50歳～59歳	285	26.6%
60歳～69歳	199	18.6%
70歳以上	65	6.1%
無記入	20	1.9%
計	1,072	100.0%

1-e 職業



選択肢	回答数	構成率
会社員	455	46.0%
公務員	56	5.7%
団体職員	43	4.3%
自営業	136	13.8%
アルバイト・パート	36	3.6%
学生	15	1.5%
無職・主婦	158	16.0%
その他	69	7.0%
無記入	21	2.1%
計	989	100.0%

1-e 職業



選択肢	回答数	構成率
会社員	533	49.7%
公務員	67	6.3%
団体職員	43	4.0%
自営業	121	11.3%
アルバイト・パート	47	4.4%
学生	14	1.3%
無職・主婦	155	14.5%
その他	71	6.6%
無記入	21	2.0%
計	1,072	100.0%

○平成25年度の傾向

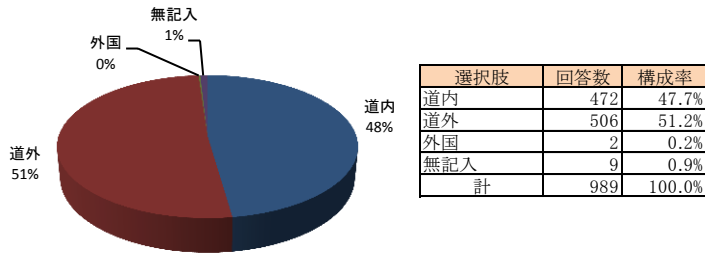
- ・利用者の年齢構成は、50歳代を中心として40歳～69歳に集中しており、65%を占めた。
- ・職業別では、会社員が最も高く46%となっており、その他については分散傾向にある。

○平成24年度との比較

- ・利用者の年齢構成に大きな変化は見られなかった。
- ・職業別では、自営業が増加した。

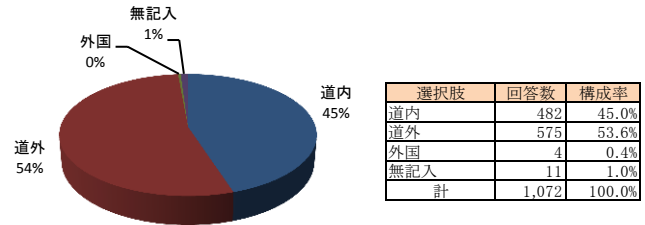
2. 調査対象者の居住地 平成25年度（冬期）

2-a 道内外及び外国の分類

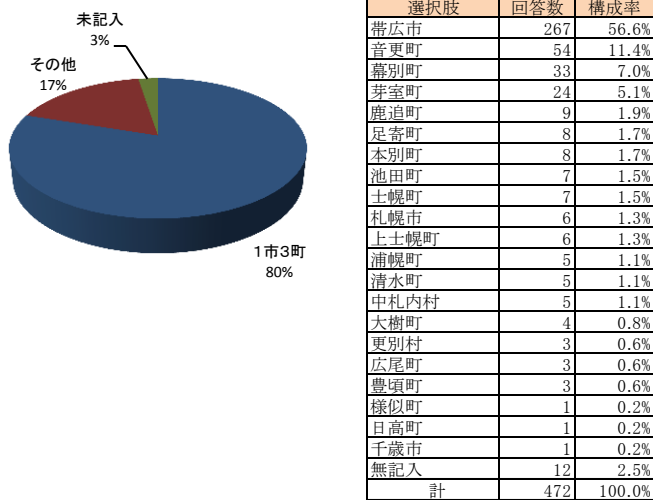


2. 調査対象者の居住地 平成24年度（冬期）

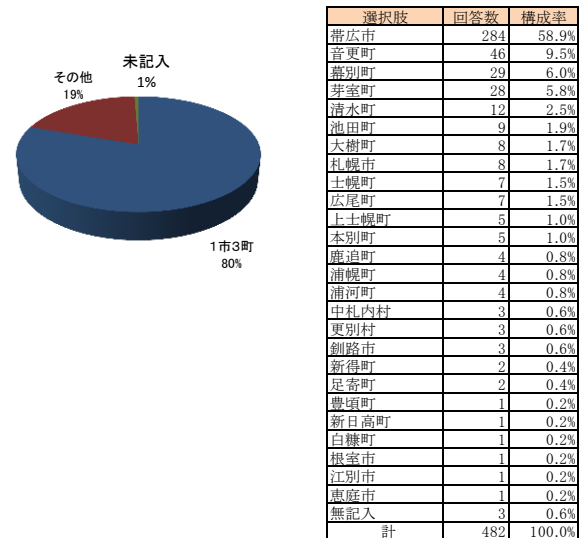
2-a 道内外及び外国の分類



2-b アウトバウンド利用者の居住市町村



2-b アウトバウンド利用者の居住市町村



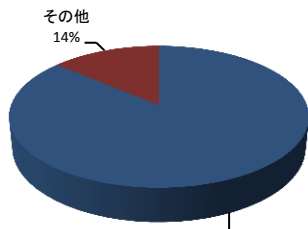
○平成25年度の傾向

- ・インバウンド利用が51%、アウトバウンド利用が48%となった。
- ・アウトバウンドの居住地別では、帯広市、音更町、幕別町、芽室町の1市3町で80%という結果となった。

○平成24年度との比較

- ・インバウンド利用とアウトバウンド利用の比率は前年とほぼ同様の結果となった。

2-c インバウンド利用（道外等居住）者の居住都府県

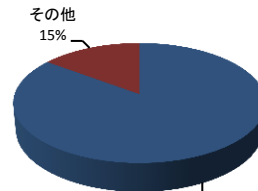


関東圏
86%

※関東圏（首都圏1都7県）

選択肢	回答数	構成率
東京都	176	34.6%
神奈川県	105	20.7%
千葉県	76	15.0%
埼玉県	52	10.2%
茨城県	15	3.0%
静岡県	12	2.4%
栃木県	11	2.2%
大阪府	8	1.6%
愛知県	8	1.6%
兵庫県	6	1.2%
熊本県	5	1.0%
福岡県	4	0.8%
長崎県	4	0.8%
長野県	3	0.6%
群馬県	2	0.4%
京都府	2	0.4%
富山県	1	0.2%
鳥取県	1	0.2%
佐賀県	1	0.2%
奈良県	1	0.2%
徳島県	1	0.2%
新潟県	1	0.2%
沖縄県	1	0.2%
鹿児島県	1	0.2%
宮崎県	1	0.2%
香川県	1	0.2%
山形県	1	0.2%
山梨県	1	0.2%
島根県	1	0.2%
海外	2	0.4%
無記入	4	0.8%
計	508	100.0%

2-c インバウンド利用者の居住都府県



関東圏
85%

※関東圏（首都圏1都7県）

選択肢	回答数	構成率
東京都	206	35.2%
神奈川県	124	21.2%
千葉県	78	13.3%
埼玉県	61	10.4%
茨城県	13	2.2%
栃木県	10	1.7%
静岡県	10	1.7%
大阪府	10	1.7%
愛知県	9	1.5%
兵庫県	8	1.4%
広島県	7	1.2%
長野県	6	1.0%
沖縄県	6	1.0%
群馬県	4	0.7%
香川県	4	0.7%
山梨県	3	0.5%
山形県	2	0.3%
愛媛県	2	0.3%
福岡県	2	0.3%
鹿児島県	2	0.3%
宮城県	1	0.2%
新潟県	1	0.2%
福井県	1	0.2%
京都府	1	0.2%
岡山県	1	0.2%
山口県	1	0.2%
熊本県	1	0.2%
大分県	1	0.2%
海外	4	0.7%
無記入	7	1.2%
計	586	100.0%

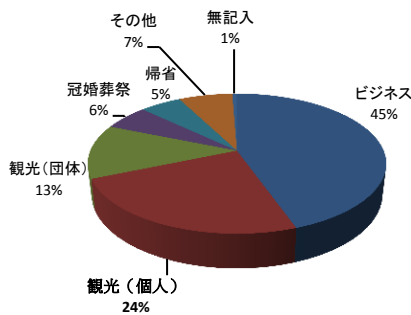
○平成25年度の傾向

- ・インバウンド利用者は、関東圏の比率が高く、86%を占めた。

○平成24年度との比較

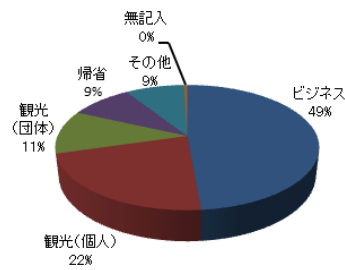
- ・前年と比較し、大きな変化は見られなかった。

3. 利用目的 平成25年度（冬期）



選択肢	回答数	構成率
ビジネス	441	44.6%
観光(個人)	238	24.1%
観光(団体)	124	12.5%
冠婚葬祭	58	5.9%
帰省	53	5.4%
その他	69	7.0%
無記入	6	0.6%
計	989	100.0%

平成24年度（冬期）



選択肢	回答数	構成率
ビジネス	521	48.6%
観光(個人)	235	21.9%
観光(団体)	121	11.3%
帰省	97	9.0%
その他	93	8.7%
無記入	5	0.5%
計	1,072	100.0%

○平成25年度の傾向

- ・ビジネス利用が45%となっており、観光利用（個人・団体）の37%を上回った。

○平成24年度との比較

- ・観光利用（個人・団体）全体が増加した。

4. アウトバウンドの利用状況 平成25年度（冬期） （帯広空港を利用する 道内 居住者の動き）

4-a 往路用務先（複数回答）

選択肢	回答数	構成率
関東	336	68.4%
中部	19	3.9%
東北	6	1.2%
北陸	2	0.4%
近畿	25	5.1%
中国	7	1.4%
四国	3	0.6%
九州・沖縄	50	10.2%
海外	33	6.7%
無記入	10	2.0%
計	491	100.0%

4-b 往路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	368	77.0%
那覇空港	21	4.4%
伊丹空港	18	3.8%
宮崎空港	6	1.3%
福岡空港	5	1.0%
広島空港	4	0.8%
久米島空港	4	0.8%
大分空港	3	0.6%
成田空港	2	0.4%
関西空港	1	0.2%
鹿児島空港	1	0.2%
高知空港	1	0.2%
高松空港	1	0.2%
佐賀空港	1	0.2%
熊本空港	1	0.2%
長崎空港	1	0.2%
海外空港	25	5.2%
無記入	15	3.1%
計	478	100.0%

4-c 復路予定区間

選択肢	回答数	構成率
羽田一帯広	377	78.9%
その他	72	15.1%
無記入	29	6.1%
計	478	100.0%



4-c-① その他の内訳（出発空港）

選択肢	回答数	構成率
那覇空港	16	22.2%
羽田空港	11	15.3%
伊丹空港	11	15.3%
広島空港	3	4.2%
福岡空港	3	4.2%
宮崎空港	3	4.2%
中部空港	2	2.8%
久米島空港	2	2.8%
山口宇部空港	2	2.8%
成田空港	1	1.4%
関西空港	1	1.4%
大分空港	1	1.4%
長崎空港	1	1.4%
鹿児島空港	1	1.4%
海外空港	14	19.4%
計	72	100.0%

4-c-② その他の内訳（到着空港）

選択肢	回答数	構成率
帯広空港	55	76.4%
新千歳空港	17	23.6%
計	72	100.0%

4. アウトバウンドの利用状況 平成24年度（冬期）

4-a 往路用務先（複数回答）

選択肢	回答数	構成率
関東	352	70.5%
中部	26	5.2%
東北	4	0.8%
北陸	6	1.2%
近畿	17	3.4%
中国	3	0.6%
四国	11	2.2%
九州・沖縄	42	8.4%
海外	34	6.8%
無記入	4	0.8%
計	499	100.0%

4-b 往路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	384	79.0%
那覇空港	21	4.3%
伊丹空港	9	1.9%
高知空港	9	1.9%
鹿児島空港	8	1.6%
福岡空港	3	0.6%
熊本空港	3	0.6%
石垣空港	3	0.6%
富山空港	2	0.4%
庄内空港	1	0.2%
中部国際空港	1	0.2%
名古屋空港	1	0.2%
小松空港	1	0.2%
広島空港	1	0.2%
北九州空港	1	0.2%
長崎空港	1	0.2%
海外空港	32	6.6%
無記入	5	1.0%
計	486	100.0%

4-c 復路予定区間

選択肢	回答数	構成率
羽田一帯広	379	78.0%
その他	94	19.3%
無記入	13	2.7%
計	486	100.0%



4-c-① その他の内訳（出発空港）

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	19	20.2%
那覇空港	14	14.9%
伊丹空港	5	5.3%
鹿児島空港	4	4.3%
松山空港	3	3.2%
石垣空港	3	3.2%
関西空港	2	2.1%
福岡空港	2	2.1%
長崎空港	2	2.1%
熊本空港	2	2.1%
中部空港	1	1.1%
愛媛空港	1	1.1%
高知空港	1	1.1%
高松空港	1	1.1%
北九州空港	1	1.1%
宮崎空港	1	1.1%
海外空港	32	34.0%
計	94	100.0%

4-c-② その他の内訳（到着空港）

選択肢	回答数	構成率
帯広空港	74	78.7%
新千歳空港	16	17.0%
函館空港	2	2.1%
釧路空港	1	1.1%
中標津空港	1	1.1%
計	94	100.0%

○平成25年度の傾向

- 往路の最終到着空港は77%が羽田空港であり、羽田から他空港へ移動するのは20%となった。
- 用務先の68%は関東となっており、その他は分散傾向にある。
- 復路については、79%が「羽田空港ーとかち帯広空港」路線の利用を予定していた。

○平成24年度との比較

- ほぼすべての項目において、同様の傾向であった。

5. インバウンドの利用状況 平成25年度（冬期） （帯広空港を利用する 道外等 居住者の動き）

5-a 往路用務先（複数回答）

選択肢	回答数	構成率
帯広(十勝)方面	487	82.1%
札幌(小樽)方面	27	4.6%
釧路(阿寒)方面	22	3.7%
旭川(富良野)方面	15	2.5%
北見方面	13	2.2%
函館方面	6	1.0%
網走(知床)方面	5	0.8%
根室方面	1	0.2%
その他	8	1.3%
無記入	9	1.5%
計	593	100.0%

5-b 往路利用区間

選択肢	回答数	構成率
羽田一帯広	415	81.2%
その他	91	17.8%
無記入	5	1.0%
計	511	100.0%

5-c 復路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	480	93.9%
その他	26	5.1%
無記入	5	1.0%
計	511	100.0%



5-b-① その他の内訳 （到着空港）

選択肢	回答数	構成率
新千歳空港	59	64.8%
旭川空港	7	7.7%
釧路空港	7	7.7%
女満別空港	5	5.5%
函館空港	4	4.4%
帯広空港	3	3.3%
無記入	6	6.6%
計	91	100.0%



5-c-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
伊丹空港	9	32.1%
広島空港	3	10.7%
高松空港	3	10.7%
那覇空港	3	10.7%
関西空港	2	7.1%
福岡空港	2	7.1%
小松空港	1	3.6%
山口宇部空港	1	3.6%
長崎空港	1	3.6%
大分空港	1	3.6%
宮崎空港	1	3.6%
鹿児島空港	1	3.6%
計	28	100.0%

5-b-② その他の内訳 （出発空港）

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	74	81.3%
伊丹空港	5	5.5%
成田空港	3	3.3%
関西空港	2	2.2%
中部国際空港	2	2.2%
神戸空港	1	1.1%
広島空港	1	1.1%
出雲空港	1	1.1%
鹿児島空港	1	1.1%
無記入	1	1.1%
計	91	100.0%

平成24年度（冬期）

5-a 往路用務先（複数回答）

選択肢	回答数	構成率
帯広方面	576	86.2%
旭川方面	35	5.2%
札幌方面	23	3.4%
釧路方面	16	2.4%
網走方面	6	0.9%
北見方面	5	0.7%
函館方面	2	0.3%
根室方面	1	0.1%
その他	1	0.1%
無記入	3	0.4%
計	668	100.0%

5-b 往路利用区間

選択肢	回答数	構成率
羽田一帯広	507	86.5%
その他	78	13.3%
無記入	1	0.2%
計	586	100.0%

5-c 復路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	542	92.5%
その他	28	4.8%
無記入	16	2.7%
計	586	100.0%



5-b-① その他の内訳 （到着空港）

選択肢	回答数	構成率
新千歳空港	53	67.9%
旭川空港	8	10.3%
帯広空港	6	7.7%
女満別空港	5	6.4%
釧路空港	4	5.1%
函館空港	1	1.3%
フェリー	1	1.3%
計	78	100.0%



5-c-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
伊丹空港	9	32.1%
広島空港	3	10.7%
高松空港	3	10.7%
那覇空港	3	10.7%
関西空港	2	7.1%
福岡空港	2	7.1%
小松空港	1	3.6%
山口宇部空港	1	3.6%
長崎空港	1	3.6%
大分空港	1	3.6%
宮崎空港	1	3.6%
鹿児島空港	1	3.6%
計	28	100.0%

5-b-② その他の内訳 （出発空港）

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	63	80.8%
伊丹空港	5	6.4%
中部国際空港	3	3.8%
青森空港	1	1.3%
仙台空港	1	1.3%
神戸空港	1	1.3%
福岡空港	1	1.3%
大分空港	1	1.3%
那覇空港	1	1.3%
フェリー	1	1.3%
計	78	100.0%

○平成25年度の傾向

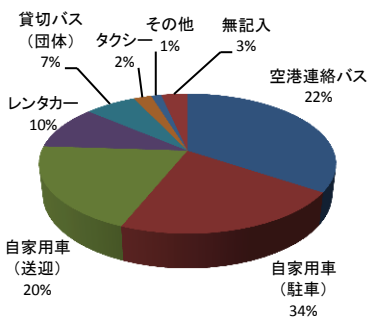
- ・インバウンド利用者の用務先は、82%が帯広方面であった。
- ・往路で利用した区間の81%は「羽田一とかち帯広」路線であり、それ以外では「羽田-新千歳」路線が多い。
- ・羽田空港から他の航空路線へ乗り継ぐ利用者は、5%となった。

○平成24年度との比較

- ・ほぼすべての項目において、同様の傾向であった。

6. とかち帯広空港までの交通機関 平成25年度（冬期）

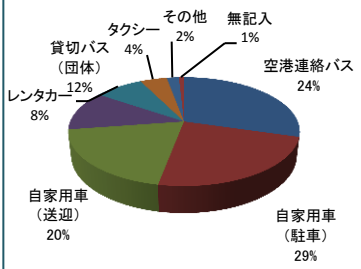
6-a 空港までの利用交通機関



選択肢	回答数	構成率
自家用車(駐車)	340	34.4%
空港連絡バス	215	21.7%
自家用車(送迎)	197	19.9%
レンタカー	101	10.2%
貸切バス(団体)	66	6.7%
タクシー	23	2.3%
その他	13	1.3%
無記入	34	3.4%
計	989	100.0%

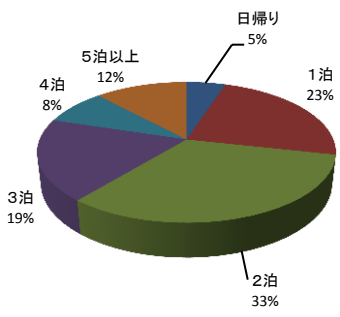
平成24年度（冬期）

6-a 空港までの利用交通機関



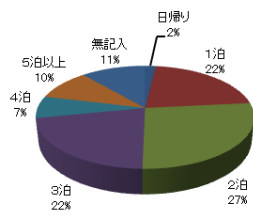
選択肢	回答数	構成率
自家用車(駐車)	316	29.5%
空港連絡バス	252	23.5%
自家用車(送迎)	211	19.7%
貸切バス(団体)	127	11.8%
レンタカー	87	8.1%
タクシー	48	4.5%
その他	22	2.1%
無記入	9	0.8%
計	1,072	100.0%

6-b 車の駐車泊数



選択肢	回答数	構成率
日帰り	11	5.0%
1泊	51	23.4%
2泊	71	32.6%
3泊	41	18.8%
4泊	18	8.3%
5泊以上	26	11.9%
計	218	100.0%

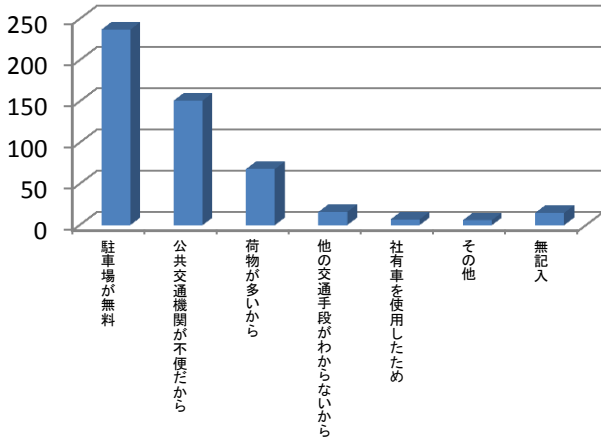
6-b 車の駐車泊数



選択肢	回答数	構成率
日帰り	6	1.9%
1泊	68	21.5%
2泊	85	26.9%
3泊	68	21.5%
4泊	22	7.0%
5泊以上	31	9.8%
無記入	36	11.4%
計	316	100.0%

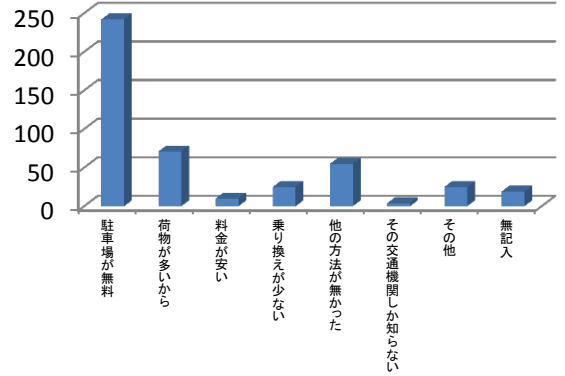
- 平成25年度の傾向
 - ・駐車、送迎を含めた自家用車利用が最も高く、54%を占めた。
 - ・空港連絡バスでの利用も高く、22%となった。
 - ・駐車泊数は2泊が多く、1泊～3泊する割合は75%になった。
- 平成24年度との比較
 - ・ほぼすべての項目において、同様の傾向であった。

7. 自家用車(駐車)を選んだ理由 平成25年度(冬期)
(複数回答)



選択肢	回答数	構成率
駐車場が無料	237	47.4%
公共交通機関が不便だから	151	30.2%
荷物が多いから	68	13.6%
その他の交通手段がわからないから	16	3.2%
社有車を使用したため	7	1.4%
その他	6	1.2%
無記入	15	3.0%
計	500	100.0%

平成24年度(冬期) (複数回答)



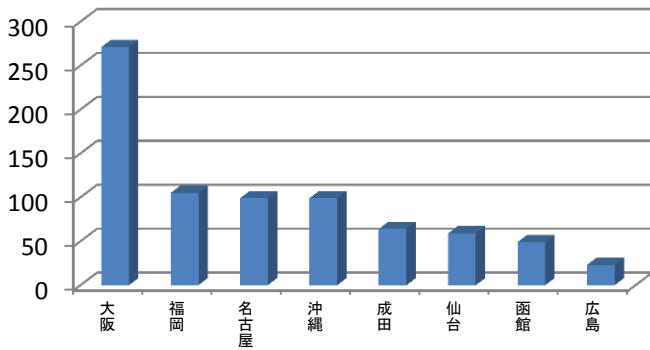
選択肢	回答数	構成率
駐車場が無料	242	53.7%
荷物が多いから	71	15.7%
料金が安い	10	2.2%
乗り換えが少ない	25	5.5%
他の方法が無かった	55	12.2%
その交通機関しか知らない	4	0.9%
その他	25	5.5%
無記入	19	4.2%
計	451	100.0%

※6-a空港までの利用交通機関の設問で(駐車)と回答された方を対象したもの。

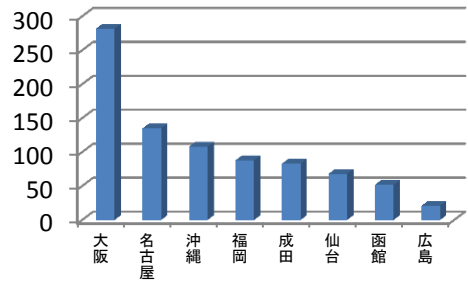
- 平成25年度の傾向
 - ・「駐車場が無料」であることを選択理由とする利用者が47%となった。
- 平成24年度との比較
 - ・前年とほぼ同様の傾向であった。

8. 新規就航を望む路線

平成25年度（冬期）
（複数回答）



平成24年度（冬期）（複数回答）



8-a 新規就航希望路線

選択肢	回答数	構成率
大阪	273	20.0%
福岡	105	7.7%
名古屋	99	7.3%
沖縄	99	7.3%
成田	64	4.7%
仙台	59	4.3%
函館	49	3.6%
広島	23	1.7%
長崎	18	1.3%
福島	16	1.2%
宮崎	15	1.1%
新潟	13	1.0%
出雲	9	0.7%
松山	9	0.7%
高知	7	0.5%
小松	5	0.4%
岡山	5	0.4%
高松	4	0.3%
北九州	4	0.3%
富山	4	0.3%
熊本	2	0.1%
大分	2	0.1%
なし	275	20.2%
その他	31	2.3%
無記入	174	12.8%
計	1,364	100.0%



8-a-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
茨城	8	25.8%
静岡	6	19.4%
松本	3	9.7%
関西	2	6.5%
神戸	2	6.5%
兵庫	2	6.5%
米子	1	3.2%
旭川	1	3.2%
山形	1	3.2%
岩手	1	3.2%
中標津	1	3.2%
鹿児島	1	3.2%
青森	1	3.2%
千歳	1	3.2%
計	31	100.0%

8-a 新規就航希望路線

選択肢	回答数	構成率
大阪	282	19.1%
名古屋	135	9.2%
沖縄	108	7.3%
福岡	88	6.0%
成田	83	5.6%
仙台	68	4.6%
函館	52	3.5%
広島	21	1.4%
福島	15	1.0%
長崎	13	0.9%
宮崎	13	0.9%
小松	12	0.8%
高松	11	0.7%
新潟	10	0.7%
松山	10	0.7%
熊本	10	0.7%
富山	9	0.6%
北九州	8	0.5%
高知	7	0.5%
出雲	5	0.3%
岡山	4	0.3%
大分	3	0.2%
なし	336	22.8%
その他	38	2.6%
無記入	134	9.1%
計	1,475	100.0%



8-a-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
静岡	8	21.1%
鹿児島	7	18.4%
新千歳	6	15.8%
茨城	5	13.2%
松本	3	7.9%
兵庫	2	5.3%
旭川	1	2.6%
女満別	1	2.6%
利尻	1	2.6%
青森	1	2.6%
三沢	1	2.6%
秋田	1	2.6%
庄内	1	2.6%
計	38	100.0%

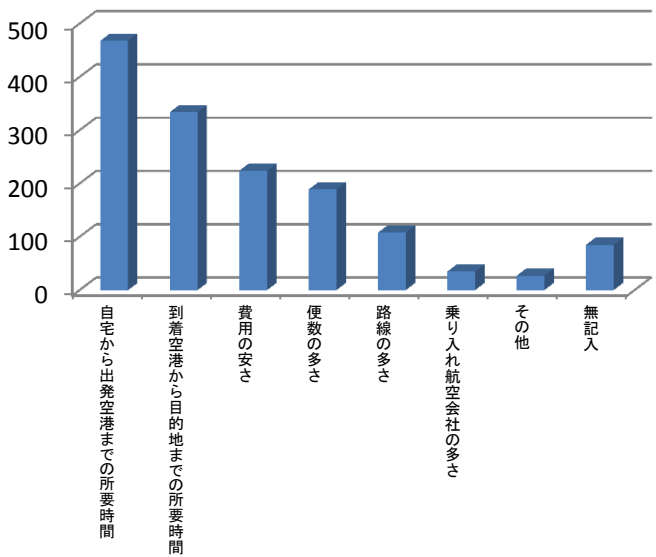
○平成25年度の傾向

・なしが20%であったが、大阪就航を希望する利用者が多い。その他は分散傾向となった。

○平成24年度との比較

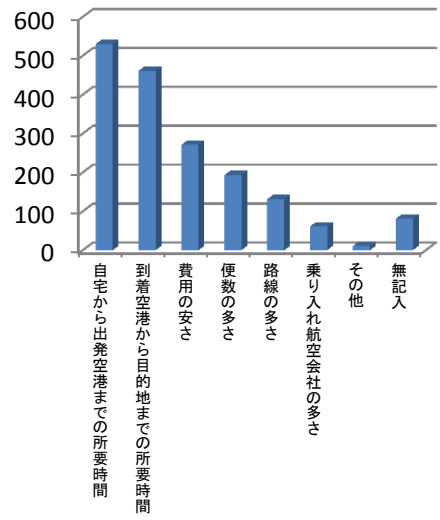
・就航希望の上位には大きな変化はなかった。

9. 空港を選ぶ際、重視すること 平成25年度 (冬期) (複数回答)



選択肢	回答数	構成率
自宅から出発空港までの所要時間	468	31.8%
到着空港から目的地までの所要時間	334	22.7%
費用の安さ	224	15.2%
便数の多さ	189	12.9%
路線の多さ	108	7.3%
乗り入れ航空会社の多さ	35	2.4%
その他	27	1.8%
無記入	85	5.8%
計	1,470	100.0%

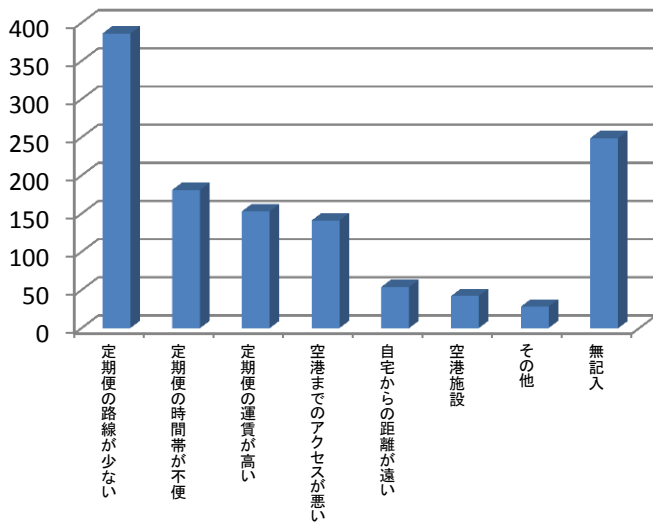
平成24年度 (冬期) (複数回答)



選択肢	回答数	構成率
自宅から出発空港までの所要時間	530	30.5%
到着空港から目的地までの所要時間	461	26.5%
費用の安さ	271	15.6%
便数の多さ	193	11.1%
路線の多さ	131	7.5%
乗り入れ航空会社の多さ	61	3.5%
その他	11	0.6%
無記入	81	4.7%
計	1,739	100.0%

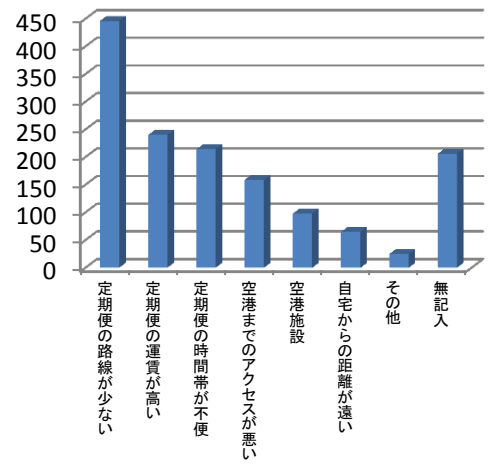
- 平成25年度の傾向
 - ・自宅や目的地からの所要時間、費用の安さ、便数の多さを重視する傾向が強い。
- 平成24年度との比較
 - ・前年度の結果から大きな変化はなかった。

10. 利用しづらいと思うところ 平成25年度 (冬期) (複数回答)



選択肢	回答数	構成率
定期便の路線が少ない	386	31.3%
定期便の時間帯が不便	181	14.7%
定期便の運賃が高い	153	12.4%
空港までのアクセスが悪い	141	11.4%
自宅からの距離が遠い	54	4.4%
空港施設	42	3.4%
その他	28	2.3%
無記入	249	20.2%
計	1,234	100.0%

平成24年度 (冬期) (複数回答)



選択肢	回答数	構成率
定期便の路線が少ない	446	30.7%
定期便の運賃が高い	240	16.5%
定期便の時間帯が不便	214	14.7%
空港までのアクセスが悪い	159	10.9%
空港施設	98	6.7%
自宅からの距離が遠い	65	4.5%
その他	25	1.7%
無記入	206	14.2%
計	1,453	100.0%

○平成25年度の傾向

- ・路線の少なさや時間帯が不便が多かった。

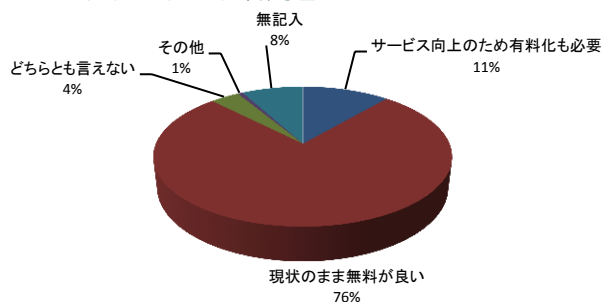
○平成24年度との比較

- ・前年と比較して、大きな変化はなかった。

11. とちぎ帯広空港の駐車場利用

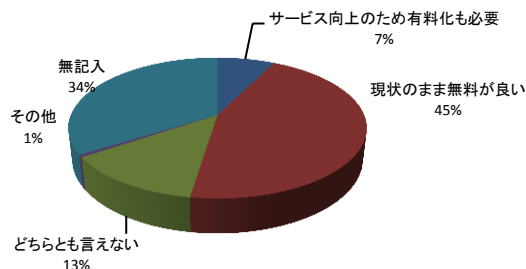
11-a 料金体系（アウトバンド・インバンド別）

アウトバンド利用者



選択肢	回答数	構成率
サービス向上のため有料化も必要	54	11.3%
現状のまま無料が良い	365	76.4%
どちらとも言えない	18	3.8%
その他	3	0.6%
無記入	38	7.9%
計	478	100.0%

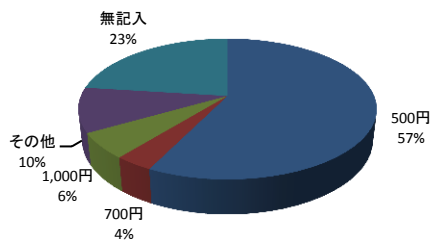
インバンド利用者



選択肢	回答数	構成率
サービス向上のため有料化も必要	38	7.4%
現状のまま無料が良い	230	45.0%
どちらとも言えない	67	13.1%
その他	3	0.6%
無記入	173	33.9%
計	511	100.0%

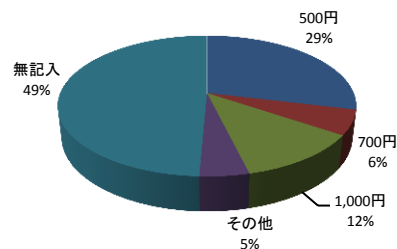
11-b 1日の最大利用料金として妥当と考える金額（アウトバンド・インバンド別）

アウトバンド利用者



選択肢	回答数	構成率
500円	274	57.3%
700円	17	3.6%
1,000円	28	5.9%
その他	49	10.3%
無記入	110	23.0%
計	478	100.0%

インバンド利用者



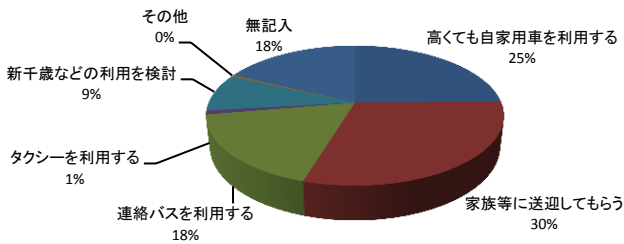
選択肢	回答数	構成率
500円	147	28.8%
700円	29	5.7%
1,000円	60	11.7%
その他	23	4.5%
無記入	252	49.3%
計	511	100.0%

その他の金額の分布状況（全体）

選択肢	回答数	構成率
0円（無料）	2	2.8%
100円	17	23.6%
200円	10	13.9%
300円	22	30.6%
その他	21	29.2%
計	72	100.0%

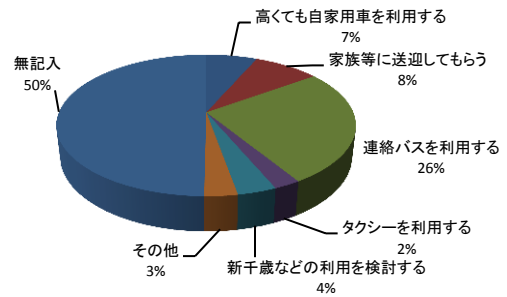
11-c 自分の想定よりも高額であった時の駐車場利用（アウトバンド・インバンド別）（複数回答）

アウトバンド利用者



選択肢	回答数	構成率
高くても自家用車を利用する	136	24.6%
家族等に送迎してもらう	166	30.1%
連絡バスを利用する	97	17.6%
タクシーを利用する	5	0.9%
新千歳などの利用を検討する	48	8.7%
その他	2	0.4%
無記入	98	17.8%
計	552	100.0%

インバンド利用者

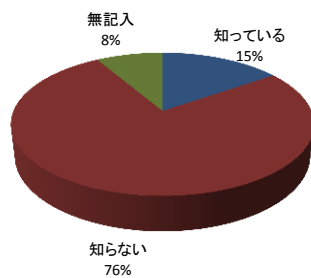


選択肢	回答数	構成率
高くても自家用車を利用する	35	6.6%
家族等に送迎してもらう	45	8.5%
連絡バスを利用する	139	26.1%
タクシーを利用する	13	2.4%
新千歳などの利用を検討する	19	3.6%
その他	16	3.0%
無記入	265	49.8%
計	532	100.0%

○平成25年度の傾向

- ・「有料化も必要」と考える利用者は、アウトバンドで7%、インバンドで11%程度であった。
- ・「無料化継続」を望む意見は、アウトバンドでは76%を占めた。
- ・アウトバンド利用者の25%が自分の想定よりも高額な駐車料金でも空港駐車場を利用すると考えていた。
- ・想定より高かった場合、アウトバンド利用者の9%が他空港の利用を検討すると考えていた。
- ・アウトバンド利用者の57%が1日の最大利用金額を500円と考えていた。

12. とちぎ帯広空港からの乗継割引路線の認知度



選択肢	回答数	構成率
知っている	152	15.4%
知らない	753	76.1%
無記入	84	8.5%
計	989	100.0%

○平成25年度の傾向

- ・「知っている」と回答した利用者が、15%と低い状況であった。